

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和元年8月16日 VOL116

## 第2回 藤枝プロフェッショナル介護コンテストを開催！

令和元年7月28日（日）、藤枝市産学官連携推進センター（BiVi藤枝内）を会場に「第2回 藤枝プロフェッショナル介護コンテスト」（藤枝市・藤枝PKコンテスト実行委員会（委員長：医療法人志太会理事長：三輪 誠氏）主催）を開催し、市内外の介護関係者や一般市民、高校生・短大生など280人超が参加しました。この大会は、介護・福祉事業に携わる介護のプロフェッショナルとして活動する介護職の姿を介護技能コンテストを行い、市民に披露することにより『介護とは何か』を考える動機と『介護の魅力と奥深さ』を発信することを目的にしています。

市では、高齢化が進む社会の課題に対して地域包括ケアシステムの強化に向けた取組を推進しており、介護人材の育成と確保は重要な施策であり、このコンテストは藤枝市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画「第7次ふじえだ介護・福祉プラン21」において、若い世代へのイメージアップを図ることや介護従事者の声を通じてその仕事の魅力を発信することを取り組むべきものとして位置付けています。



コンテストは、市内9の施設を運営する法人が各施設から代表選手を出し、施設対抗戦で実施しました。終末期を迎えた88歳の女性に対するケアプランを練り精神的な支援を踏まえた介護技術を競いました。



## チームへの応援をする各施設の職員



最優秀賞の表彰

各施設とも、日ごろ介護を実践するうえで大切にしていることをケアプランに盛り込み、代表選手がこれまで磨いてきた介護技術を発揮していました。

9施設の代表が競う中で最優秀賞に輝いたのは介護老人保健施設ユニケア岡部のドーティ・キュートラムさんでした。ドーティさんは、「自分の勉強のために自ら進んでコンテストに参加した。これまで学んできたことが評価されてうれしい。もっと勉強していきたい」と、喜びと今後の意欲を語りました。また、審査員の静岡県介護福祉士会会長の及川ゆりこさんからの講評でも車椅子への移乗やその他の操作が大変スムーズで、利用者に安心感を与える介護などと非常に高い評価を受けました。

介護職員の介護の仕事に対する情熱を感じることができるとなりました。市では今後も介護の仕事の魅力の発信を行ってきます。



最優秀賞の喜びを語る  
ドーティ・キュートラムさん



最優秀賞を受賞した介護老人保健施設ユニケア岡部チーム